

令和 7 年度
リハビリテーション看護エキスパートコース研修

募集要項

東京都リハビリテーション病院 看護部
令和 7 年 4 月

目次

令和7年度「リハビリテーション看護エキスパート研修」について	P1
1 「リハビリテーション看護エキスパート研修」の特徴	P2
2 「リハビリテーション看護エキスパート研修」概要	
3 「リハビリテーション看護エキスパート研修」カリキュラム概要	P3
4 「リハビリテーション看護エキスパート研修」申し込み概要	P4

「リハビリテーション看護エキスパート研修」について

令和 7 年 4 月

東京都リハビリテーション病院 看護部

東京都リハビリテーション病院の基本的役割は、東京都におけるリハビリテーション医療の中核病院として、「広域対象への高度リハビリテーション」を 365 日提供することである。院内外のリハビリに携わる医療従事者の更なる専門性を高めるためのキャリア発達支援を目的に、平成 23 年度より「リハビリテーション看護エキスパート研修」を開講し、今年度で 14 年目となる。

今後、地域包括ケアシステムの中で、地域におけるリハビリテーション医療と福祉・介護の充実を推進することが、一層求められる。そのため、入院から在宅までを見据えた看護を展開するとともに、リーダーシップを発揮し、チームマネジメントできる看護師を継続的に育成していくことが必須である。

当院看護部理念は、「私たちはリハビリテーション看護の在り方を追求し、Safety・Service・Smile を基に患者さんや家族に信頼される看護を提供します」である。これを実践していくために、看護の基本姿勢である「考える看護」「見守る看護」「待つ看護」を大切にしながら、受傷後リカバリー期にある人々の心身の特徴を踏まえ、変化し続ける医療を取り巻く外部環境や社会情勢の動向を多角的に捉え、医学的な根拠や看護の専門知識に基づいて、リハビリテーション看護に対応する実践的な能力向上が重要である。

「リハビリテーション看護エキスパートコース研修」は、高度専門リハビリテーション医療・看護を提供するための最新の知識・情報および技術のブラッシュアップが可能な魅力ある研修とし、リハビリテーション看護のエキスパートを育成し、リハビリテーション看護の質向上に寄与できる人材の育成をおこなう。

1 「リハビリテーション看護エキスパート研修」の特徴

当研修はリハビリテーション看護の実践者として、熟練した看護技術と知識を用いて看護実践ができ、他の看護職者のケア技術の向上に資する看護師を育成することを目的に充実した研修内容で構成している。院内外の講師により、最新のリハビリテーション医療・看護を学ぶことができる。また、東京都リハビリテーション病院看護師および関連施設看護師等の交流を活かしながら、リハビリテーションにおける看護師の役割を理解し、自身が目指す看護の専門性を見つめなおす機会となっている。

2 「リハビリテーション看護エキスパート研修」概要

研修目的	リハビリテーション医療・看護の知識・技術を深め、専門性の向上を図る。
研修期間	1年間（令和7年5月開講、令和8年2月閉講） 計10回
研修方法	研修プログラム参照
研修科目	3頁参照
受講資格要件	1 東京都リハビリテーション病院看護師、関連施設看護師であること 2 施設責任者および上司が推薦する看護師であること 3 事例検討をまとめ発表できること 4 コース研修を最後まで受講できること
研修生	10～15名程度
研修場所	東京都リハビリテーション病院内 （同行訪問および急性期病院の見学あり）
修了基準	修了基準として以下の項目をクリアすることを必須とし、原則として研修期間内に評価を行う 1 全時間数の80%以上を出席していること 2 事例検討の発表を行うこと
修了証書	全研修課程を修了し、修了要件を満たした者に修了証書を交付する。

3 「リハビリテーション看護エキスパート研修」カリキュラム概要

科 目	時 間
導入（オリエンテーション・自己紹介）	1
リハビリテーション医療の動向と回復期リハビリテーション病院の役割	1
エキスパートナースの役割	1
リハビリテーション看護総論	2
リハ病院における拘束最小化の取組み	1.5
脳卒中について	1.5
ICF とリハビリテーション看護（ICF を活用した事例展開）	1.5
高次脳機能障害のある患者の看護	2
認知症の看護	1.5
摂食嚥下について	1
摂食障害患者の看護	1
リハビリテーションと栄養管理	1
排尿障害について	1.5
排尿障害患者の看護	2
整形外科疾患（大腿骨骨折）	1.25
整形外科疾患（脊髄損傷）	1.25
大腿骨骨折患者の看護	1
人体メカニズムと移乗	2
リハビリテーションセンター部門見学（PT・OT・ST）	1
コミュニケーション障害	1.5
コミュニケーション障害患者の看護	1.5
退院支援における多職種連携と看護師の役割	2
退院支援と意思決定支援	1.5
自立支援と両立支援について	1.5
医療・社会福祉制度と地域の社会資源の活用	1.5
退院支援における自部署の課題（事前課題でまとめ・発表）	3.5
地域包括ケアシステム推進に向けた看護師の役割	1.5
訪問看護の実際	1.5
事例検討のまとめ	3.5
訪問看護同行	6
急性期病院見学	6
事例検討発表	3
修了式	1
総 時 間	61.5

4 「リハビリテーション看護エキスパート研修」申し込み概要

(1) 研修期間および時間

①期間：令和7年5月～令和8年2月

②時間：9時～16時30分

(2) 受講要件

① 東京都リハビリテーション病院看護師、関連施設看護師であること

② 施設責任者および上司が推薦する看護師であること

③ 事例検討をまとめ発表できること

④ コース研修を最後まで受講できること

(3) 修了要件

全プログラムの80%以上の出席と事例検討の発表

(4) 受講申し込み方法

同封の申込用紙を記入のうえ、**FAX または e-mail** で送信してください。

【申込先】

FAX : 03-3616-8705

e-mail : kyoiku2@tokyo-reha.jp

(5) 応募申し込み締め切り

令和7年5月2日（金）

申し込み順に参加要件など確認し受講の決定をお送りします。

5 添付資料

- ・令和7年度「リハビリテーション看護エキスパート研修」プログラム
- ・令和7年度「リハビリテーション看護エキスパート研修」申し込み書

【連絡先】

〒131-0034

東京都墨田区堤通2-14-1

Tel : 03-3616-8600 (内) 7056

Fax : 03-3616-8705

e-mail : kyoiku2@tokyo-reha.jp

教育担当師長 蟻田 富士子